



私がサツマイモに初めて出会ったのは5〜6歳ころに通った保育園のおやつだったようだ。蒸したホカホカのサツマイモは、何もなかった時代の私の唯一の楽しみだった。時は移り、私も71歳。初孫に目を細める歳になった。近く、その孫と嫁さんに、息子と2人で料理をつくってごちそうをする。レシピは「サツマイモごはん」だ。今からワクワクしている。(福井俊彦)

発症後、最初に描いた絵は正中軸が曲がっていました。そのことは、ご自分が身体の状態に気がつくきっかけになりました。描くたびに持ち前のセンスと腕を取り戻す福井さん。福井さんが絵を描いていると、通所の仲間たちが寄ってきます。そのうち通所の仲間に教えるようになり、今では地域の水彩画教室にボランティア講師として参加しています。(担当 OT: 木野)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



古川カヨ「コスモス祭り」

この作品は、私の住んでいる町のイベントの一つ、コスモス祭りの風景です。

車いすで写真を撮りに行き、思い出しながらパソコンで描きました。

身体が不自由で思うように動くことができず、暗くなりがちですが、自分や私の作品を見た人が、明るく、楽しい気分になれると嬉しいです。

パソコンで描くことは、想像以上に根気のいる作業で、さまざまな関節に痛みを伴うため、補装具をつけて描きました。

これからも、元気を与えられる絵を描きたいです。